



# 06 数と計算

# 正負の数とそのたし算・ひき算

【今回学ぶこと】

プラスの数を正の数、マイナスの数を負の数と言います。ここでは、正の数と負の数の役割と意味を学びます。そして負の数のたし算やひき算にも触れたいと思います。意味がわかると計算がわかります。

【学習のポイント】

- ①正の数、負の数とは
- ②正の数、負の数のたし算、ひき算

到達目標 ●▶ 負の数に慣れ、正負の数のたし算とひき算を身につける

数学監修・執筆

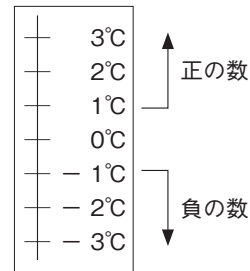
湯浅弘一

## 正の数、負の数とは

温度計を見ると、 $-3^{\circ}\text{C}$ 、 $-2^{\circ}\text{C}$ 、 $-1^{\circ}\text{C}$ 、 $0^{\circ}\text{C}$ 、 $1^{\circ}\text{C}$ 、 $2^{\circ}\text{C}$ 、 $3^{\circ}\text{C}$ ……と、ここに－（マイナス）という符号が出てきます。このマイナスがついた数を負の数と言います。

それに対して、 $1$ 、 $2$ 、 $3$ ……を正の数と言います。 $0$ は正の数でも負の数でもありません。

また、 $1$ 、 $2$ 、 $3$ ……は、 $+1$ 、 $+2$ 、 $+3$ ……と表しても ok です。



### ■ マイナスは反対のイメージ

おこづかい帳（銀行の通帳）などには残高という項目があります。

残高が400円とあれば400円残っています。しかし、 $-200$ 円とあれば誰かから200円借金していることとなります。

### ■ 反対の反対は元に戻る？

では、 $-200$ 円にマイナスを付けてみましょう。

$-(-200)$  となります。

これは、 $-(-200) = 200$  というように元に戻ります。

**＋と－には約束があります。**

たとえば、

$$+(+100) = +100$$

$$+(-100) = -100$$

$$-(+100) = -100$$

$$-(-100) = +100$$

というように

**＋や－を符号**と言います。

同じ符号が2つ続くときは＋  
異なる符号が2つ続くときは－

になります。

Q：練習です。

$$5 - 3 = 2$$

$$5 - (-3) = 5 + 3 = 8$$

↑ 同じ符号が2つ

$$7 + (-3) = 7 - 3 = 4$$

↑ 異なる符号が2つ



このとき、 $7 + -3$  とは書いてはいけません。

( ) を付け、 $7 + (-3)$  と表します。

## 正の数、負の数のたし算・ひき算

$$5 - 1 = 4$$

$$5 - 2 = 3$$

$$5 - 3 = 2$$

$$5 - 4 = 1$$

$$5 - 5 = 0$$

$$5 - 6 = ?$$

5 個の物から 6 個をとる → 1 個不足です。

これを -1 と言います。

つまり、 $5 - 6 = \underline{-1}$  となります。

では、

$4 + (-5)$  はどうでしょう？

これは異なる符号、 $+(-5)$  ですから

$$\begin{aligned} 4 + (-5) &= 4 - 5 \\ &= -1 \quad \text{となります。} \end{aligned}$$

Q：では最後に 1 題チャレンジ！

$$5 - (-7) + (-2) - 12 = ?$$

A：  $5 - (-7) + (-2) - 12$

↓

$$= \underline{5 + 7} - 2 - 12$$

↓

$$= 12 - 2 - 12$$

$$= 10 - 12$$

$$= -2 \quad \text{となります。}$$

